

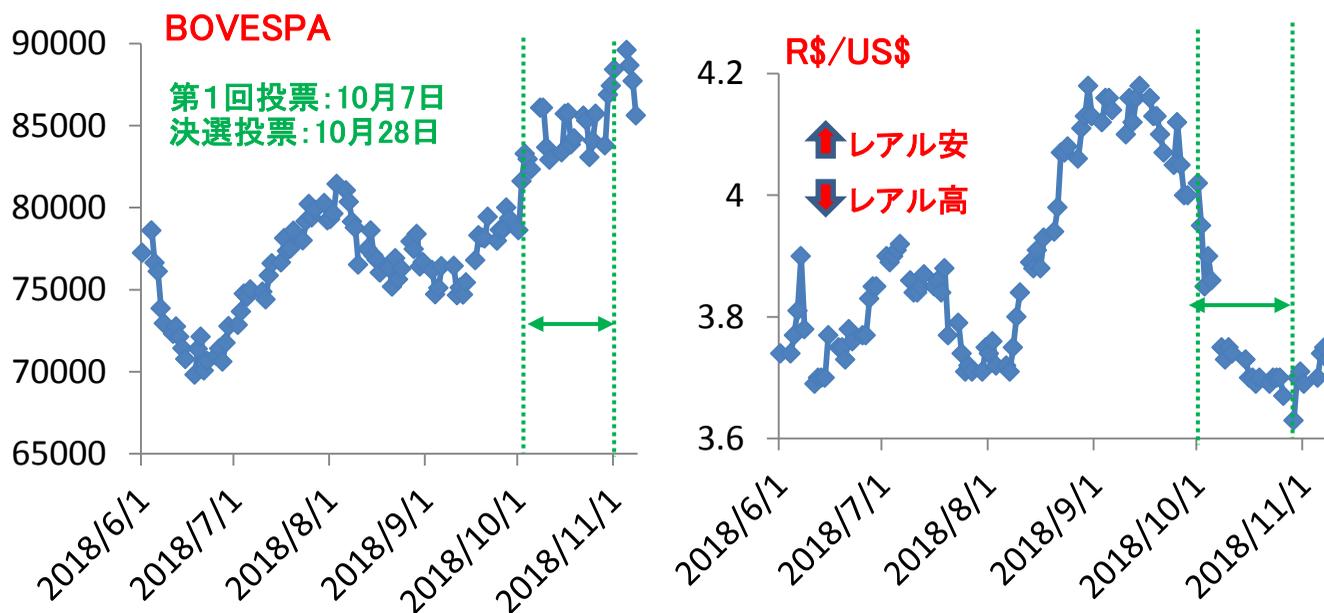
ブラジルレポート

為替・株式市場

	11月07日	11月08日	18年9月末	17年末	16年末	15年末	14年末	13年末
為替レート(R\$/US\$)	3.75	3.73	4.00	3.30	3.25	3.96	2.65	2.34
株価【BOVESPA】(ポイント)	87,714	85,620	79,342	76,402	60,227	43,350	50,007	51,507

新大統領Bolsonaro・期待とリスク

- ・大統領選挙が決着し、市場は落ち着きを取り戻しつつあるようにも見えている。
- ・ブラジル中央銀行・金融政策委員会は政策金利Selicを6.5%に据え置く決定を下している。その決定の要因の一つとして、選挙後に経済への不確実性が低減した事を理由に挙げている。レアル通貨の下落、インフレ等への懸念が一段希薄したと見ているようだ。
- ・大統領選挙が行われた10月の**株価は10%強**、レアル通貨は**8%強**も上昇した。



・しかし、この先を厳しく見ているアナリストも少なくない。意見は次の通り:

- ① 新政権は財政の危機的状況は理解しているようだが、政策の実行の難度をあまく見ている。プライマリーバランスのマイナスを1年で解消する等の発言は不信感を煽る。
- ② 企業の民営化は解決策にならない。義務的な出費がGDPより成長しているのが問題。
- ③ 6ヶ月以内に現実的な財政改革プログラムを立てないとデフォルト状況と財務崩壊を招いてしまう。その場合、選択肢は二つしかない。デフォルトかインフレ。この財政状況の解決は政権初期のアクションにかかっている。年金改革がFirst。

* BOVESPA指数はこここのところ3日連続に下落している(11月8日: Δ 2.4%)。新政権が納得できる方針を示しきれないのが一つのマイナス要因?